



ながの 門前 まち あるき

2018
7月
8月

ながののまちを
楽しんで暮らし働くひと
一緒にあるく

門前裏路地めぐり

7/20 (金)
11:00
▽
13:00

善光寺門前界限には、「こんなところにも道があるんだね」と思える裏路地がたくさんあります。そんな裏路地を歩き、つながっている門前界限のお店を訪ねます。



戸谷 晶子とやあきこ

NATURAL ANCHORS スタッフ

アウトドアセレクトショップ「NATURAL ANCHORS」スタッフ。

「KNOTE(クノテン)」という屋号でパラコードをつかったアクセサリーも制作。



東町ベース

ヤマとカワ 珈琲店

秋葉横丁すぐの立地にたたずむ珈琲店。焙煎専門で営業しており、国別の6種と季節ごとのブレンドが揃います。

オンド ワイクシヨップ

旧店舗の綿店のつくりをそのまま生かした築70年ほどのたてものに、店主の木村さんの人柄を感じさせる空間に、温もりを感じられる革製品が並びます。

NATURAL ANCHORS

岩石町の住宅街にあるアウトドアセレクトショップ。8割ほどは直接海外で買付けし入荷する商品で、国内にない珍しいものが並んでいます。

バカ バカ

東町にある、看板もメニューもないカフェバー。店主の人柄が現れる魅力的な店内で、飲み物をたのんでホットと息つきましょう。

街ブラ昼飲み

7/28 (土)
15:00
▽
17:30

たまの休日、街中で昼からお酒を飲んで過ごしてみるのは乙なもの。行く店にあるのは昼間から堂々とお酒を飲める「昼飲みのアタリマエ」。今、門前にもそんなお店が増えてきています。そんな昼飲みができる場所にGo!



堀内 宗喜ほりうちむねよし

2002年に交通事故で四肢麻痺の障害を受け、2016年頃に単独で動けるような車椅子に出会い、以降長野市街を頻繁に散策。

魅力的な店舗を探し求めてお店に1人で突撃。車椅子で気兼ねなく入れるお店が増えることを夢見て日々街を歩く。



東町ベース

はちばカ （もりたろう）

障害者支援をしている法人の運営する欧風料理店。日中は稼働することの少ない宴会場を使って「昼飲み専門店」として稼働し始めました。カフェですが提供するのはほお酒です。(300円/杯)

タコ ハイボール

提供してくれるものはほぼタコ(主にたこ焼き)とハイボールというかなり尖ったお店。狭い立ち飲み屋なので、一人で飲んでもその場が盛り上がりつつは楽しい雰囲気の中飲むこともできます。(380円/杯)

天ふら 寿司18坪

立ち呑み屋ながら高級感が漂うお店。値段もそれなりの設定ですが味はそれ以上です。長野駅のロータリー沿いという立地なので、美味しいものを食べながら軽く一杯飲んで帰ろうというニーズにジャストフィット。(380円/杯)

信州くま 発酵バー

駅ナカはミドリ2階にあり様々な日本酒を取り揃えるお店。飲み比べをしたい方のために日本酒三種類を選んでお猪口一杯ずつ飲める「飲み比べセット」もあり。(350円/杯)

※ 実際は終了後に割り勘になります(1人1500円くらい)
※ 飲酒しますので車の運転は避けてください。

少しオープンな オフィスめぐり

8/17 (金) 9:00 ~ 11:00

認定フアンシリイティマネジャーでありエルゴノミクスアドバイザーでもある案内人が、オフィスという切り口で門前を見つめます。

土井零視 じいれいじ

株式会社越前屋 オフィス事業部所属
シヨッパ・イベントスペース・ギャラリー
『echizen GALO』運営会社社員兼役者
保有資格：認定フアンシリイティマネジャー・初級システムアドミニストレータ・エルゴノミクスアドバイザー



東町ベース

株式会社 シヨッカ

文房具卸会社だった建物を改修した2階に拠点を構える。半分がオフィススペース、もう半分が演劇の稽古やモノづくりスペースとして利用できる究極のワークライフバランスを実現しているオフィス

株式会社 アソビズム

長野ブランチ

木造旅館を改修。古さと最先端の技術が融合したスタイリッシュなオフィス。スイスの家具メーカー『USMハラー』の家具がカッコ良さを際立たせませす

mauve & 株式会社

ズザウルス

倉庫として使われていた名もないビルをギャラリースペースを持つオフィスに改修。1階と2階に別々の会社があり、それぞれのスペースが独立しながらも緩やかに繋がるアトリエのようなオフィス

株式会社 JBN

西後町のオフィスは元文房具店。東面に大きな窓や吹き抜けがあり、明るく清潔感のあるオフィス。2階部分をセミナールームとして有効的に活用し、オフィスの価値を高めている

books

開放感のある吹き抜け2階が編集・デザインの事務所。旅とアートがテーマの新刊書店でもありながら朝カフェも営業する夢のようなオフィス

越前屋 & echizen GALO

1階は書道用品販売店舗。2階はライブオフィスを兼ねた家具店舗

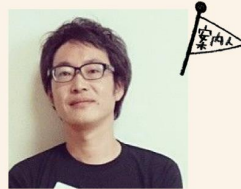
門前の編集者に 会いに行く

8/18 (土) 9:00 ~ 11:00

門前にはさまざまな編集者がいて、彼ら彼女らが生み出す雑誌やフリーペーパーやCDもあって。それもまた、ぼくたちが暮らす街の要素のひとつで。そんな編集者たちに会いに行きます。

稲田英資 いなだひでし

株式会社JBN
Webサイトを企画・制作・運用する株式会社JBNに勤務。Webと企業が重なりあう場所についてイベントを企画・開催しています。ネオンホールで『漫画とか部』も毎月開催中。



東町ベース

信濃毎日新聞

（編集室いびぢ代表 山口美緒さん）

山口さんがこれまで編集・執筆されてきた『信州蕎麦ごのみ』や『信州の発酵食』といった書籍についてお話を聞きます。場所は発行元の信毎で。

Ch.books （島田浩美さん）

本屋でもあり、編集・デザイン事務所でもあるCh.booksが発行するフリーペーパー『チャンネル』。多彩で賑やかな冊子たちはどのように作られたのでしょうか。

JBN

西後町のオフィスは元文房具店。東面に大きな窓や吹き抜けがあり、明るく清潔感のあるオフィス。2階部分をセミナールームとして有効的に活用し、オフィスの価値を高めている

ネオンホール （大沢夏海さん）

ライブハウス・小劇場のネオンホールは、月刊のフリーペーパーを百号以上出し続けたり、演劇のパフレットを出したり、音楽アルバムを出したり。実は豊かな編集スポットの一面をお聞かせします。

ナノグラフィカ （清水隆史さん）

ミュージシャンであり、写真家の清水さんが長年発行し続けている『街並み』この冊子を通して、清水さんは街をどのように見て、編集しているのか。お茶を飲みながらお聞かせします。

まちあるき地図

長野駅・善光寺



ながの門前まちあるき。
知っているようで知らないながののまち。
案内人と歩くで見えてくる、いつもと違うまちの景色。
ときにはゆつくりと、まちの息づかいを感じてみるのもいいかもしれません。

- 定員 各回10名(要申込)
 - 参加費 1000円(学生500円) + 飲食代実費
 - 集合時刻 開始時刻の10分前
- 少雨決行、荒天中止
まちあるき中の体調管理や事故、トラブルに関しては自己責任でお願いします。

申込み・問合せ・集合場所

東町ベース

住所 長野市東町146・3
電話 090・15533・1485
まち暮らしたての案内所(午前9時~午後6時)

まち暮らしたての案内所 <http://machikurashi.com>
企画協力 ナノグラフィカ
主催 長野市中心市街地活性化協議会